

# 発達障害？ あるお母さんの記録から

自分の子どもが周りの子どもと様子が違う、よくトラブルをおこす、などから子どもを受けとめられなかったり自分を責めたりする話をよく聞きます。また、先生や周りの理解が遅れているため、子どもがいじめられたり自己肯定感が低くなる状況に陥ったりします。発達障害についての研究は発達途上ですが、ひとつの実体験を紹介します。

平石家の場合	子どもの様子	お母さんの気持ち
誕生	<ul style="list-style-type: none"> <li>よくあちこちにぶつかるのでアザとケガが絶えず。</li> <li>外遊びが大好き。じっとしていられないのか、毎日外で遊ぶ。(と言うか落ち着きがない)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>よく動かし、元気な子。</li> </ul>
1歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>本を読み聞かせると、よく聴いていて暗記していた。言葉は沢山覚えていったと思う。</li> <li>落ち着きがない、多動。話しかけてもあまり目が合わない。</li> <li>友だちを押ししたり、物を取り合い、ケンカになる。</li> <li>場に関係なく大きな声でしゃべる。</li> <li>よく泣いていた。</li> <li>自分の体を上手く使えていないような感じがした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>落ち着きがないのはしついでどうにかなるかな...</li> </ul>
2歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>人見知りしないので初対面の大人でも親しげに話す。</li> <li>どこへ行っても行動が目立つようになる。</li> <li>興奮すると止まらない。</li> <li>友だちをひっかく、噛みつく、押す、とすぐケンカになる。</li> <li>しつけの事など伝えても本人には伝わらない。</li> <li>服のタグを極端に嫌がる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のしつけのせいだと自分をすごく責めるようになり、自信を無くす。</li> <li>人の居る場所に行く事がとてもストレスだった。</li> <li>自分の気持ちを誰かに理解して欲しかった。</li> <li>もう子どもと一緒に居たくなかった。独りになりたかった。</li> </ul>
3歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>入園後、毎日友達とトラブルが続くので原因があるのではと感じ、市の発達支援の人に見てもらおうが、「特に問題はないのでお母さんが子どもを信じて温かく見守る事が大切」と言われた。</li> <li>よく人にぶつかっていきるのでその事でトラブルに。しかし本人にはぶつかっていった自覚がない。</li> <li>体のコントロールが出来ていない。</li> <li>息子の周りから人がいなくなっていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもを信じて何も変わらず、温かく見守る事なんて出来なかった。</li> <li>幼稚園へ迎えに行くとその日あったトラブルを先生から伝えられ、相手の親に謝るように言われる。</li> <li>孤立してしまって孤独感が大きかった。</li> </ul>
4歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>入園後、毎日友達とトラブルが続くので原因があるのではと感じ、市の発達支援の人に見てもらおうが、「特に問題はないのでお母さんが子どもを信じて温かく見守る事が大切」と言われた。</li> <li>よく人にぶつかっていきるのでその事でトラブルに。しかし本人にはぶつかっていった自覚がない。</li> <li>体のコントロールが出来ていない。</li> <li>息子の周りから人がいなくなっていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>息子に居場所を作ってあげたくてサッカー教室に通いだす。楽しそうな息子を見て私とても嬉しかった。</li> </ul>
幼稚園入園	<ul style="list-style-type: none"> <li>入園後、毎日友達とトラブルが続くので原因があるのではと感じ、市の発達支援の人に見てもらおうが、「特に問題はないのでお母さんが子どもを信じて温かく見守る事が大切」と言われた。</li> <li>よく人にぶつかっていきるのでその事でトラブルに。しかし本人にはぶつかっていった自覚がない。</li> <li>体のコントロールが出来ていない。</li> <li>息子の周りから人がいなくなっていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校の担任の先生が学習の面で息子の苦手な部分を詳しく伝えてくれ、今後具体的にどうしていったらよいか教えてくれた。</li> </ul>
サッカーを習いだす	<ul style="list-style-type: none"> <li>サッカーを習いだして少しずつ自分の体の使い方が器用になっていき、人にぶつかる事が徐々に減る。落ち着きがなく多動な所がコート上では長所になるとコーチにも褒められ、仲間でも楽しそう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童用知能検査で発達の問題が見つかった事はとてもショックでしたが、同時にもっと早く知りたかったとも思いました。常に育てにくさがあり原因も分からず、子どもと過ごす時間が苦しいものでしかなかったからです。本人に生まれ持った特性があるとちゃんと知っていたら、もっと早く息子を受け止められたのではと思います。(平石)</li> </ul>
5歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字の理解が遅い。</li> <li>児童用知能検査で発達の問題が見つかる。</li> </ul>	
6歳		
小学校入学		

## 四日市市にはこんな支援があります

- 相談** 四日市市 発達総合支援室(総合会館3階) ☎059-354-8064  
保育園や幼稚園、こども園、小学校でも相談を受けられる。
- 支援**
  - ①児童発達支援センター あけぼの学園  
保育園・幼稚園・入園前の乳幼児が対象。言語・身体運動面・生活面などの発達の遅れが心配な子どもに対し、心身の基礎的発達をうながす支援を行う。また、保護者(家族)の心配や不安、悩みを聞いてもらえ、子どもとの関わり方や子どもの特性も学べる。
  - ②U-8(8歳以下)事業(発達障害等早期支援事業)(総合会館6階)  
4~8歳対象に「言葉がうまく話せない」「周りの子とうまくかかわれない」「読み書き計算など定着しない」などの小学校生活を送りやすくするサポートがある。
  - ③四日市市の小・中学校における特別支援教育  
市内全ての小・中学校に特別支援教育コーディネーターがいて、必要とされると支援が受けられる。
  - ◎特別支援学級・・・ほぼ全ての学校に設置されている。  
通常の学級における指導では、十分な学習成果を得ることが難しいと思われる児童を対象として、その子に合わせた特別な教育課程が編成される。
  - ◎通級指導教室・・・小・中学校に在籍している障害の軽い児童生徒が、ほとんどの授業を通常の学級で受けながら、主に放課後、障害の状態に応じた指導を受ける。自分の学校に設置されていない場合は近くの設置校に通う。  
「言語通級指導教室」(ことばの教室)、「情緒等通級指導教室」(ほっとルーム)などがある。
  - ④放課後デイサービスの利用相談、受付  
障害があるとみなされた子ども(6~18歳)が放課後や長期休暇に利用できる福祉サービス。

支援は徐々に充実してきています。少しでも気になることがあれば、まずは相談から始めたらいかがでしょうか。詳しくは四日市市のホームページをご覧ください。

### ドイツ(ハノーファー)便り 40 青井 陽子

今月のテーマが発達障害と書いて思い出してみました

ドイツのインターナショナル校では、3歳児検診のときに言葉の遅れがあるとされた日本人の男の子が、専門の施設で週に一回トレーニングを受けつつ通常の3歳児クラスに通っていました。大変だったのは教室という場所と担任の先生に慣れることで、あんまり泣くのでまずは15分間預りからスタートしていました。徐々に時間を伸ばしてダメな時はお母さんがお迎えに行き、を繰り返して8ヶ月、ようやく安心して一日を保育園で過ごすようになりました。

ボードではどうだったか、ネットに出ていた「ADHDのあるお父さんによく見られる行動リスト」を娘が見て「全項目、クラスにあてはまる子がいたわ」との事。英語のレベルも違うのでみんな手探りのコミュニケーション、授業中はお茶でもトイレでも自由に行けて座学より作業が多いからみんなウロウロしている、宿題はない、集団行動が少ない、自分の主張は言わないと分かってもらえないから我が強くなる。というわけで、例えばADHDであっても過ごしやすい環境だったんじゃないかと思えます。

### 適切な支援を受けるために

発達障害は脳機能の障害で、症状は人によって様々ですが、人が話しているときに急に自分の興味のある話をしだしたり、頼まれたことをすっかり忘れてほかのことをしてしまったりと、生活する上で困る人が多いです。他にも、こだわりが極端に強くて融通がきかなかったり、いつも動き回っていたりするなど、いろいろな症状がありますが、症状そのものはその人の生まれ持った特性だととらえられます。

親は育てにくい子だと感じ、自分の育て方が悪かったのではと不安になったり、何度言ってもわかってこない子どもを責めてしまったりすることもあります。その子の育ちにとっても、親の安定のためにも、適切な支援が必要になります。保育園で友達を叩いたり大声を出したりしていた子どもが、少人数の環境で自分の気持ちを丁寧に受け止めてもらったことで、行動が落ち着くこともあります。

その子が発達障害かどうかは問題ではなく、特性が良い方向に伸びることも、本人も周りも困るような状況になることも、周囲の人たちの関わりや環境が大きな要因になるのだと思われれます。

発達障害かどうかの診断は、その子を差別するためのものでも、親が安心するためのものでもなく、その子へ適切な関わりをするために必要で、診断が適切な支援への糸口になるのだと思います。本当はどんな子どもでもどんな人でもそれぞれの違いを認めて関わり合うことができるのが一番ですが...。(藤吉)

### 気軽に読める おすすめの本

うちの子は育てにくい子	アママミヨリ 文・絵	西脇俊二 ハイクリニック院長
アスペルガー症候群との上手なつきあい方入門	KADOKAWA (2016)	宝島社 (2015)

### ゆうこの部屋 「ぼくたちはみんな旅をする」

講談社 1900円

ローラ・ノウルズ/文 クリス・マッデン/絵

大空を飛び鳥たち、広い海を泳ぐクジラ、魚やカメたち。大地を歩く大きなゾウも、チョウなどの小さな虫たちも、生きものは子どもを産み、育てるために旅をするって知ってた？誰にも教えられなくても、驚くような長い距離を、たくさんの生きものたちが移動することにビックリ。

最後の章は私たち人間。そうだよ、私たちも、いろいろな理由で旅するね。すごいなあ。きれいなイラストもすてきで、ゆったりした気持ちになります。(野崎)

### 私とスペース 小牧大雅さん

私はこどもスペースに1歳の時から行って幼稚園に入るまではプレイセンターに通っていました。高校生になった今でも子どもの遊び相手になったり環境整備をするために行きます。

スペースには悩み事などを親身になって聞いてくれるお母さん方や底なしの体力で遊んでくれる子どもたちがいて、とても楽しいところです。

こんな温かい雰囲気場所は他にはなくて私にとって第二の学校であり家のような場所です。

### 8月のスペース

夏休みの居場所は、毎日子ども達が色々な事をして過ごしています。水遊びやかくれんぼ、ドレスを着てごっこ遊びや絵本を読んだりしています。ある晴れた日、小学生の女の子3人がデッキブラシを持ってウッドデッキで遊んでいました。そのうちホースを持って来て水を流し始めると、「みんなで掃除しよう!」と言って4歳から小学生の女の子6人ほどでウッドデッキの掃除が始まりました。みんな水着に着替えて準備万端です!

デッキブラシを持って「ここ、汚れるからもっとキレイにして」「水で流して」と言いながら一列に並んで磨いています。「よし、ここはオッケー」と言って洗い終わった所はそこだけとてもピカピカになっていました。照り付ける太陽の下、1時間ほど掃除タイムは続きました。(平尾)